

警視庁の電気職 (設備・情報) 仕事紹介



情報管理課

装 備 課

施 設 課

交通管制課

通信指令本部



Tokyo
Metropolitan
Police
Department

警察行政職員 電気（設備・情報）

警察施設の電気設備や通信設備、情報管理、通信指令、交通管制などの各種システムの企画、設計、積算、施工、検査、保守管理、情報システムの開発設計や運用保守及び情報セキュリティ対策などの業務を行うとともに、常に新技術の調査・開発にも注力し、24時間365日稼働する警察活動を支えています。

所属別の仕事内容

電気（設備・情報）の仕事内容は多岐にわたり、配属された所属ごとに様々な業務に従事しています。

こちらもチェック！

電気職紹介動画



情報管理課

- ・ 警視庁で使用するシステムのプログラミング、サーバー等情報機器の運用管理
- ・ 情報処理や情報セキュリティ対策に関するルールの作成、教育
- ・ デジタル技術の調査、研究



システム開発



システム監視



職員へのICT教育

装 備 課

- ・ 衛星通信技術を用いた大規模な警備や災害時の現場中継・映像配信
- ・ 警察専用電話回線の整備や警察業務専用スマートフォンアプリの開発
- ・ 警察無線機の配備・計画、無線通話チャンネルの管理



衛星通信車の操作



テレビ中継車内



通信機器情報解析

施設課

- ・新築警察庁舎(警察署・交番等)の電気設備工事に関する設計、積算、施工監理
- ・既存警察庁舎(警察署・交番等)の電気設備・機械設備に関する設備保全業務
- ・既存大規模庁舎の設備管理業務



設計積算業務



太陽光パネル



設備管理業務

交通管制課

- ・都内で運用されている信号機の新設、改良、更新、保全及び運用に関する業務
- ・交通管制システムの企画、整備、更新
- ・交通管制センターの運用を通じ、渋滞の緩和措置や交通情報の収集や広報



交通管制センター



信号機の設定秒数を検討



交差点における交通量の確認

通信指令本部

- ・通信指令システムの維持、管理
- ・通信指令システムへの新たな機能、機器等の導入
- ・通信指令システムの将来を見据えた情報関連分野の研究



システム活用状況



日常点検



契約業者との打合せ



情報管理課
システム運用第一係 主事（電気）
2022年入庁（I類採用） 東京都出身

効率的な業務を目指して。

警視庁を目指したきっかけ

大学3年生の時に就職活動の準備をする中で、人々の安全・安心を守る警察の仕事に興味があったため、警視庁の説明会に参加しました。警視庁には警察官だけでなく、警察行政職員という職種があり、その中に大学で勉強した情報処理の分野を生かせる「電気職」があることを知り、志望しました。



端末機室（システム検証ルーム）

担当する業務内容

警視庁では、捜査支援、運転免許、落し物管理などに関する様々な情報システムが日々使われています。

私が所属しているシステム運用担当では、それらのシステムの開発や運用保守、プログラムの作成、ソフトウェアの動作検証等を行い、警視庁全体の警察活動が円滑に進むよう支援しています。



新技術についての調査

仕事のやりがい

万が一情報システムが停止してしまうと、警視庁内部の業務が滞るだけでなく、都民・国民の生活を守るための警察活動にも支障が出てしまいます。そのため、情報管理課の業務は都民の方と直接関わるものではありませんが、警視庁の業務の中核を担うものと言えます。

重要なシステムが異常なくスムーズに稼働するよう細心の注意を払って運用を行うことにより、自分も東京の安全・安心を守っている一員であると実感でき、やりがいを感じます。



「現場」のためのシステムを。

情報管理課

基盤運用第一係 主事（電気）

2018年入庁（Ⅲ類採用） 熊本県出身

警視庁を目指したきっかけ

高校生の時、熊本地震の被災者となり、日本全国から派遣された自衛隊や警察官などの姿を見て、自分も住民や国民のために仕事をする公務員になろうと思いました。工業系の高校に通っていたため、技術系の公務員を目指していたところ、警視庁から災害派遣された警察行政職員の電気職の新聞記事を見つけ、警視庁を受験しました。



サーバー室

担当する業務内容

主に警視庁で使用しているサーバーの運用管理等を行っています。警視庁の各システムは警察業務の性質上、24時間365日安定して稼働させることが求められ、システムの安定した稼働のために、8交代制で日々の監視や警察署等からの業務システムに関する問合せ対応を行っています。



新システムの開発

仕事のやりがい

ふだんはインフラ関連の業務を担当しています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の際は、応援派遣された全国の警察官が使用した警備系システムの自主開発に携わりました。スケールの大きい仕事に責任も重大でしたが、作り上げたシステムが実際に活用され、警備が無事終了したときの達成感は忘れられません。このようなスケールが大きい仕事に携わることができることも、警視庁の電気職の魅力のひとつです。

- ・衛星通信技術などを用いた現場中継・映像配信
- ・警察専用電話回線の整備、警察業務専用スマートフォンアプリの開発
- ・警察無線機の配備計画



装備課
無線通信係 主任（電気）
2014年入庁（I類採用） 東京都出身

通信のスペシャリストを目指す。

警視庁を目指したきっかけ

大学を卒業後、一般企業でシステムエンジニアとして4年間勤務していたところ、大学時代の友人が警視庁の電気職として勤務している事を知ったのがきっかけです。東京の安全・安心を守る警察官の方々と一緒に仕事ができる、警察ならではの仕事に従事することに大きな魅力を感じ、警視庁への転職を決めました。

担当する業務内容

警察官が使用する無線機の貸出しや無線通信施設の維持管理を担当しています。都内の治安維持のため、警備・捜査等の使用目的や使用者の要望に合わせて無線通信設備の調整を行っています。また、現在は前職での経験を生かして業務のDX化を手掛けており、通信機器を管理するICタグを用いたシステムの整備を進めています。

仕事のやりがい

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の際は、警察テレビを活用して会場周辺の映像を警視庁の警備本部等に伝送する業務に従事し、歴史的に残る警備の一翼を担ったことに誇りを感じるとともに自信につながっています。現在は、テレビ等でも見ていた無線機を実際に触りながら、その技術を学べる日々で非常に充実しています。そのような中で、自分の仕事に成果が出たとき、警察官に「ありがとう」とお礼を言われると達成感とともに大きなやりがいを感じ、転職をして良かったと思っています。



通信施設の維持管理



映像の伝送

- ・衛星通信技術などを用いた現場中継・映像配信
- ・警察専用電話回線の整備、警察業務専用スマートフォンアプリの開発
- ・警察無線機の配備計画



Turning Point In My Life

装備課
通信企画係 主事（電気）
2020年入庁（Ⅲ類採用） 東京都出身

警視庁を目指したきっかけ

工業高校を卒業後、電気設備の製造を行う民間企業へ就職をしました。そこで自分が造った電気設備が、様々な生活の支えになっているというやりがいがありました。しかし父が公務員であったことも後押しして、生まれ育った東京の治安を守る警視庁職員としての持っている経験や知識を活かして、役に立ちたいと思いました。

担当する業務内容

私が所属する装備課通信企画係では、大規模な警備を行う際や災害もしくは事件が発生した際に、テレビ中継車や衛星通信車、モバイル送信機など様々な通信手段で現地の映像を警視庁本部へ届けています。現地の状況を正確に伝える数少ない手段の一つでこの情報を基に部隊指揮も行われることから、緊張感のある任務です。

仕事のやりがい

各国の要人が日本に来日する際やオリンピックなど大規模な警備を実施する際に重要とされる場所へカメラを設置し様々な通信機器を用いて警視庁本部等に映像伝送することで、警備の指揮を執るための支援を行うなど、警視庁の警備活動に直接的に関わることができる仕事です。また災害派遣では広域緊急援助隊として現地に向かう途中や現地の先方で様々な方から激励の言葉をかけてもらうなど、多くの人の期待を肌で感じることができ、とてもやりがいのある仕事です。



ヘリコプターカメラ受信操作



行事・警備の撮影

- ・新築警察庁舎の設計・積算・施工監理業務
- ・既存警察庁舎の設備保全業務
- ・既存大規模庁舎の設備管理業務



施設課
設備保全係 主事（電気）
2020年入庁（I類採用） 長野県出身

ニーズに合った使いやすい施設を。

警視庁を目指したきっかけ

大学で学んだ電気の知識を生かし、「社会に貢献できるような仕事がしたい」という思いから、公務員の電気職を志しました。中でも警察行政職員は警察ならではの設備、システムに関われることに興味を持ち、また警察組織の中でも特に電気職員の活躍の場が広い警視庁に身を置くことが成長につながると考え入庁を決めました。

担当する業務内容

警察施設に欠かせない電気設備の改修部門を担っており、最近手がけた仕事では、災害時においてライフラインの供給が停止しても警察活動を滞りなく行う事ができるように発電機を設置しました。また、地球温暖化対策としてCO₂排出量を抑制するため、太陽光発電設備の設置を交番や警察署など各庁舎へ進めています。

仕事のやりがい

勤務員にとって、より「使いやすい」施設にするために何ができるかを考え、女性ならではの視点を生かして設計に反映していけるのがやりがいの一つです。

最近では、交番勤務を行う女性警察官も増えており、改修工事を行い女性が働きやすい環境作りにも取り組んでいます。女性警察官が活躍する姿を見たり、ニュースを聞くと、自分の仕事が社会の役に立っていることを実感できます。



設計(CAD)風景



設計や工程などの打合せ

- ・新築警察庁舎の設計・積算・施工監理業務
- ・既存警察庁舎の設備保全業務
- ・既存大規模庁舎の設備管理業務



施設課
設備保全係 主事（電気）
2023年入庁（I類採用） 山口県出身

警察施設の日常を守る。

警視庁を目指したきっかけ

高校を卒業後、民間企業で建物の建設（電気設備）に携わっていました。転職を考えたときに、前職時代に培った技術や知識を生かせる仕事、そしてワークライフバランスが充実している企業などを探していたところ、警視庁に警察行政職員（電気職）の職種を見つけ、理想とする働き方に合っていると思い受験しました。

担当する業務内容

警察署や交番など2,300箇所にある警察施設の電気設備の改修と保守を担当しています。受変電設備や発電設備など各種設備の定期点検を実施し、不具合が見つかった際は、改修工事の設計、積算、起案、工事監理をしています。その他にも、警視庁で執り行われる行事では、音響設備の設営や運用を行っています。



放送設備の運用



現場調査

仕事のやりがい

警察署などの電気設備が故障し停電してしまうと、警察業務が滞り、都民・国民の生活を守るための警察活動にも支障が出てしまいます。また、災害時こそ万全の状態であるためにも、日頃から警察署などの維持・管理を徹底することが使命だと思います。

警視庁で働く全ての職員がいつも「当たり前」に警察活動を行い、停電等のトラブルなく警察施設が運用されている状況を見ると、警視庁の警察活動を支えているというやりがいを感じます。

- ・都内で運用されている信号機の新設、改良、更新、保全及び運用
- ・交通管制システムの企画、整備、更新に関すること
- ・交通管制センターの運用



交通管制課
信号機管理係 副主査（電気）
2002年入庁（I類採用） 神奈川県出身

安全で円滑な交通社会を目指して。

警視庁を目指したきっかけ

大学で学んだ専門分野を生かして社会に貢献できる仕事がしたいという思いから、学んだ知識を生かせる就職先について調べていたところ、警視庁に電気職の採用があることを知りました。父が警視庁警察官であったこともあり、立場は違うものの学んできた知識を「首都・東京」を守る警視庁で生かしたいとの思いで志望しました。



交通テレビカメラの操作を行っている様子

担当する業務内容

当課では交通信号機を始めとした交通安全施設の維持管理や運用業務を行っています。これまで信号機の工事設計や設計書類の審査に係る業務等を行ってきました。現在は、交通の安全と円滑を考慮した信号機の運用見直しや、東京マラソンなどの交通規制を伴う大規模イベント時の信号調整に係る業務を担当しています。



信号機実査の様子

仕事のやりがい

交通は人々にとって身近なものであるため、様々な立場の人々から意見要望があります。信号調整により歩行者が安全に交差点を渡れるようになった場合や、目の不自由な方のために音響式信号機を整備した場合などに利用者から感謝された際は達成感を得られますし、僅かな信号の時間でも交通の円滑に大きく影響を及ぼすため、自分で考えて信号調整を行うことに責任とやりがいを感じます。警視庁の一員として、首都東京で仕事ができることに誇りと使命感を実感しています。

- ・都内で運用されている信号機の新設、改良、更新、保全及び運用
- ・交通管制システムの企画、整備、更新に関すること
- ・交通管制センターの運用



高度交通管制業務のシステムの構築に貢献する。

交通管制課
システム設計係 主任（電気）
2004年入庁（I類採用） 茨城県出身

警視庁を目指したきっかけ

大学で学んだ電気工学を公務員として生かせる職場を探していました。電気工学を生かせる採用募集が少ないことから警察官も受験することを検討していたところ、警視庁に電気職があることを知り、友人の警視庁に勤める父から警視庁での仕事のやりがいについて色々と教えて貰ったことがきっかけです。

担当する業務内容

これまで、信号機や車両感知器などの整備や運用に係る仕事に携わってきました。現在は、これらの施設をコントロールする交通管制センター中央装置の高度化や維持管理に係る業務を担当しています。AI等の新たな技術の導入にも取り組んでおり、これまで以上に安全で快適な交通環境を実現できるよう日々取り組んでいます。

仕事のやりがい

東京都内には約16,000か所の信号機があり、その約半数は、車両感知器で収集した交通需要の変化に応じて、交通管制センターからの指令を受けて信号制御されています。交通管制エリアは世界最大規模であり、交通管制センターには国内のみならず外国からも多くの見学者が訪れています。交通管制システムは、これまでコンピュータの機能向上や新たな技術の採用により高度化に取り組んできました。最新のシステムの維持管理を任される一員として、誇りとやりがいを持って仕事をしています。



IT S 世界会議での論文発表



現場における信号設定秒数の検討

- ・通信指令システムの維持、管理
- ・通信指令システムへの新たな機能、機器等の導入
- ・通信指令システムの将来を見据えた情報分野の研究



通信指令本部
通信指令システム係 主事（電気）
2022年入庁（Ⅲ類採用） 神奈川県出身

より良いシステムを目指して。

警視庁を目指したきっかけ

父親が当庁警察官であることから警視庁を目指しました。

最初は、警察官採用試験の受験を勧められましたが、就職先として民間も含め検討していく過程で、警視庁に「電気職」という採用枠があることを知りました。情報系の専門学校に通っていたこともあり、学んだ事を警視庁で生かす事ができると思い、受験しました。

担当する業務内容

通信指令システムの維持管理、新たな機能の導入、将来を見据えた研究等に取り組んでいます。通信指令システムは、現場の警察官が常に迅速、的確に活動できるよう、24時間365日安定稼働することが求められるとともに、社会全体でIT化が進む今日、日々アップデートしていく必要もあり、責任の大きい仕事です。



本部指令センター
（警視庁本部）



係員からの意見聞き取り

仕事のやりがい

通信指令システムは、通信指令本部のみならず、全警察署をはじめとする多くの所属に配備され、日々の警察活動に活用されています。通信指令業務を円滑に進めるために欠かすことはできません。自分が考えたものが実際に形となり、警察活動に役立っている。決して目立つ仕事ではありませんが、それを、とても誇りに感じています。今後も、より良いシステムとするべく、常に現場の声に耳を傾け、日々の業務に積極的に取り組んでいきたいと思っています。



通信指令本部
通信指令システム係 主事（電気）
2023年入庁（Ⅲ類採用） 北海道出身

現場で活動する警察官を支える。

警視庁を目指したきっかけ

工業高校で情報技術や電子技術を学んだので、これを生かした仕事に就きたいと思っていたところ、警視庁が電気職を採用していることを知り、受験を決意しました。また、私は北海道の出身ですが、皇居や警視庁本部から近い場所に独身者向けの寮があり、地方出身者でも安心して生活できることも、受験を決意した大きな理由です。

担当する業務内容

110番受理、無線指令等の初動警察活動に欠かすことのできない「通信指令システム」の維持管理等に従事しています。具体的には、本部・多摩指令センター内機器の日常点検、警察署等に設置の端末の更新、システムで使用する地図等各種情報の更新、パトカー等に設置の通信指令システム用各種機器の更新・調整です。

仕事のやりがい

着任から半年くらい過ぎた頃、機器の不具合に対応しなければならない事案があり、一人での対処が不安だったので、先輩に対処方法を尋ねたところ、「これまで教えたとおりにやってみてごらん。もう、一人でできるはずだ。」と言われました。落ち着いて、これまで学んだとおりに対処したところ、機器は正常に使用できるようになり、現場の警察官からも丁寧な感謝の言葉をもらいました。この出来事が、自身の成長とやりがいを実感する機会となりました。



多摩指令センター
(多摩総合庁舎)



パトカー用機器設置後の動作確認

最新の採用情報やイベント情報、
LINEによるお知らせはこちら

警視庁 採用

検索



警視庁採用センター

フリーダイヤル: 0120-314-372
TEL: 03-3581-4321(代表)

電気職紹介動画



街とともに。人とともに。
FOR MORE COMMUNICATION

警視庁